

事業報告書 (HP 公開用)

講座名	① 令和3年度女団協連続講座パート1 「選択的夫婦別姓制度の実現のために」 ② 令和3年度女団協連続講座パート2 シンポジウム「女性が輝く社会の実現をめざして」
日時	① 令和3年11月7日(日) 14:00~16:00 ② 令和4年2月23日(水) 14:00~16:00
目的	連続講座をとおして、男女共同参画社会の発展に寄与できる力をつけていきたい
対象	加盟団体会員及び市民・県民の皆さん
講師	① 林 千賀子さん(弁護士 ゆい法律事務所) ② 亀濱玲子さん(県政策参与) 上間園子さん(上間フードアンドライフ取締役社長) 武田陽子さん(沖縄県労働金庫専務理事) 宇野祐作さん(金秀ホールディングス取締役執行役員常務) 富田杏理さん(おきなわこどもの未来ランチサポート代表) 樋渡かおりさん(ハープ奏者)
会場	① 県総合福祉センター ゆいホール ② ているるホール
定員	① 100名 ② 200名
参加者数	① 50名 ② 100名
講演内容(概要)	① 「選択的夫婦別姓制度の実現のために」 なぜ今「選択的夫婦別姓制度」を求めるのかのと題して講演。 ・今、導入が求められているのは「選択的」別姓制度であること・我が国における氏の制度の変遷・ジェンダーバイアスについて・選択的夫婦別姓を考えたときのポイント ・選択的夫婦別姓制度に反対する意見 ② シンポジウム「女性が輝く社会の実現をめざして」 ハープ奏者の樋渡かおりさんの演奏で開幕。県政策参与の亀濱玲子さんをコーディネーターに、上間さん 武田さん 宇野さん 富田さんが女性が働きやすい職場づくりや、女性を取り巻く厳しい社会状況などについての意見交換をし、今後「女性が輝く社会の実現をめざして」いく方向性を提起した。
参加者の声	① ・とても興味深い内容で、とても勉強になりました。ありがとうございます。 根底にある個人の人権や、人格の尊重、一人の人間として尊重されることの大切さ、あらためて考えました。 ・なぜ今「選択的夫婦別姓」かについて、個人がもっと尊重される社会を作る為だというところでストンと胸に落ちて、整理できた気がしています。 自己決定権として、人権として考えるところでも納得です。 ② ・ハープのミニミニコンサートとても楽しく癒やされました。 ・女性ということだけでなく、一個人として、社会の中で生きることが認められる社会になってくれることが認められる社会になってくれることを願うことが出来ました。 ・異業種や様々な年代が同じテーマについてお話しされることが、互いの違いや新たな情報を与えることが出来て、すごく貴重な場だと感じました。このような機会を作っていただきありがとうございます。 ・このようなメンバーが同じ場面に揃うのはなかなかあり得ないのではとおもいます。



講演 林 千賀子弁護士

写真①



選択的夫婦別姓制度のポイント
自己決定権として考える
人格権として考える
平等の問題として考える
夫婦のあり方の問題として考
考える



100名の皆さんが参加
職種 年代 性別の違うメンバー
によるシンポジウムで、皆さんの経
験から多数の学びを得る会と
なる

写真②



左から

上間さん 大城理事長
与那嶺女団協会長
富田さん 宇野さん
亀濱さん 大嶺副会長

共 催 (公財) おきなわ女性財団